



遅ればせながら、明けましておめでとうございます。皆さまは、新しい年をいかが迎えられたでしょうか。本年が皆様にとりまして、素晴らしいものとなりますようにお祈りいたします。私たちは阿蘇で家族そろって年越しをし、三が日はゆっくりと過ごしました。耕太と「今後の10年」についてゆっくり語り合えた、貴重な時間でした。

そうなんです、私たちが南阿蘇に移り住んでこの春で丸10周年！農業見習いからスタートし、寛大な叔父のもとで2、3年目からどんどん任されるようになり、「聞けば教えてくれる」という具合で、うるさいことは言われずのびのびとやらせてもらっています。振り返ってみれば楽しく充実した10年でした。もちろん農業は簡単な仕事ではありません。でも、どんな仕事も「楽」ではないことを思えば、やりがいや感動の多い仕事だと感じています。私が妊娠・出産で半人前以下の働きしかしていない間に、耕太はこの10年で人様の田んぼも任されるようになりました。さあ、次の10年は何を目標とし、どんな生き方をしていくのか、ということ去年からよく二人で話しています。よりおいしいお米をつくるために、そして農業を通じて感じたことや考えたことを多くの人に伝えるために、O2ファームは進化しつづける農家でありたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



話は遡りますが、去年のクリスマス前のこと。子供たちが冬休みに入ったので家の大掃除をしました。オモチャをたくさん買い与える家ではないのですが、お下がりや頂き物でいつのまにかしまえ切れないほどモノがいっぱい。これだけモノが溢れていると、モノの大切さを教えるのは本当に大変だなあとつくづく思いました。模様替えが趣味のコウタは、半年に一度くらい部屋の模様替えをしていたのですが、双子が生まれてからはそんなことをしている余裕がありませんでした。次の10年に向けて気分を新たにすべく、模様替えを伴う大掛かりな大掃除。家具の隅にたまっている

埃の多さに半ば感心しながら、だいぶモノを減らしてすっきりさせました。展望が開けるかもしれません！？



お正月の門松も作りました。裏山から竹を切ってきてつくった特製の門松。次男が、クリスマスツリー用の飾り（金色のリボンのようなもの）をのせたら、それなりに豪華になりました。大掃除の途中に、6年前の写真（左）が出てきて、次男・連

蔵が全く同じことをしているではないですか（笑）。それにしても、大きくなったものです。



鏡餅ももちろん手作り。お雑煮用の小餅も。食卓の上にできたお餅を置いて出かけていたら、子供たちがチョコレートペンで落書きをした模様。お雑煮がチョコレート味になるのはイヤなのでお正月には使いませんが、年神様もきっと微笑んで見ていたことでしょう。我が家のような古い家では、鏡餅をたくさん飾る習慣があります。神棚の他、仏壇にも、そして「おくどさん」と呼ばれる台所（お釜）の神様、土間の神様、厩（今は機械倉庫ですが）の神様、米を保管している蔵の神様…。86歳になる義祖母の指示を

あおぎながら、それぞれの場所に置いて手を合わせます。都会のマンションで育った私は、プラスチックでできている鏡餅の形をした容器に1つずつ小袋に入れられたお餅が5、6個入っているインチキ鏡餅を飾っていましたから、えらい違いです。自然と向き合って生きる今の暮らしは、「神」の存在を何とはなしに信じたくなる。そんな気がしています。

元旦には、O2ファームのシンボリックな存在である地域の氏神様「天神さん」に初詣。いつも私たちを見守ってくださっている神様です。この天神さんの周りに広がる田んぼで、阿蘇五岳を眺めながら農作業ができるのは、本当に幸せなことです。どうか今年も無事においしいお米ができますように！遊びに来た友人一家と田んぼ野球。阿蘇に向かってホームラン！！これもまた幸せ。子供相手にけっこうマジになっている友人が笑えました。



そんなこんなで、お正月からしっかり充電した大津家。今年も力を合わせて、あか牛とお米の生産に励み、阿蘇の景観をしっかりと守っていきたいと思います。今年の農繁期が始まるまでにやっておきたいことがたくさん。充電した分、農閑期といえども精力的に仕事をしますよ～。インフルエンザやノロウィルスにはくれぐれもお気をつけください。本年もより一層のご愛顧をどうぞよろしくお願いいたします。